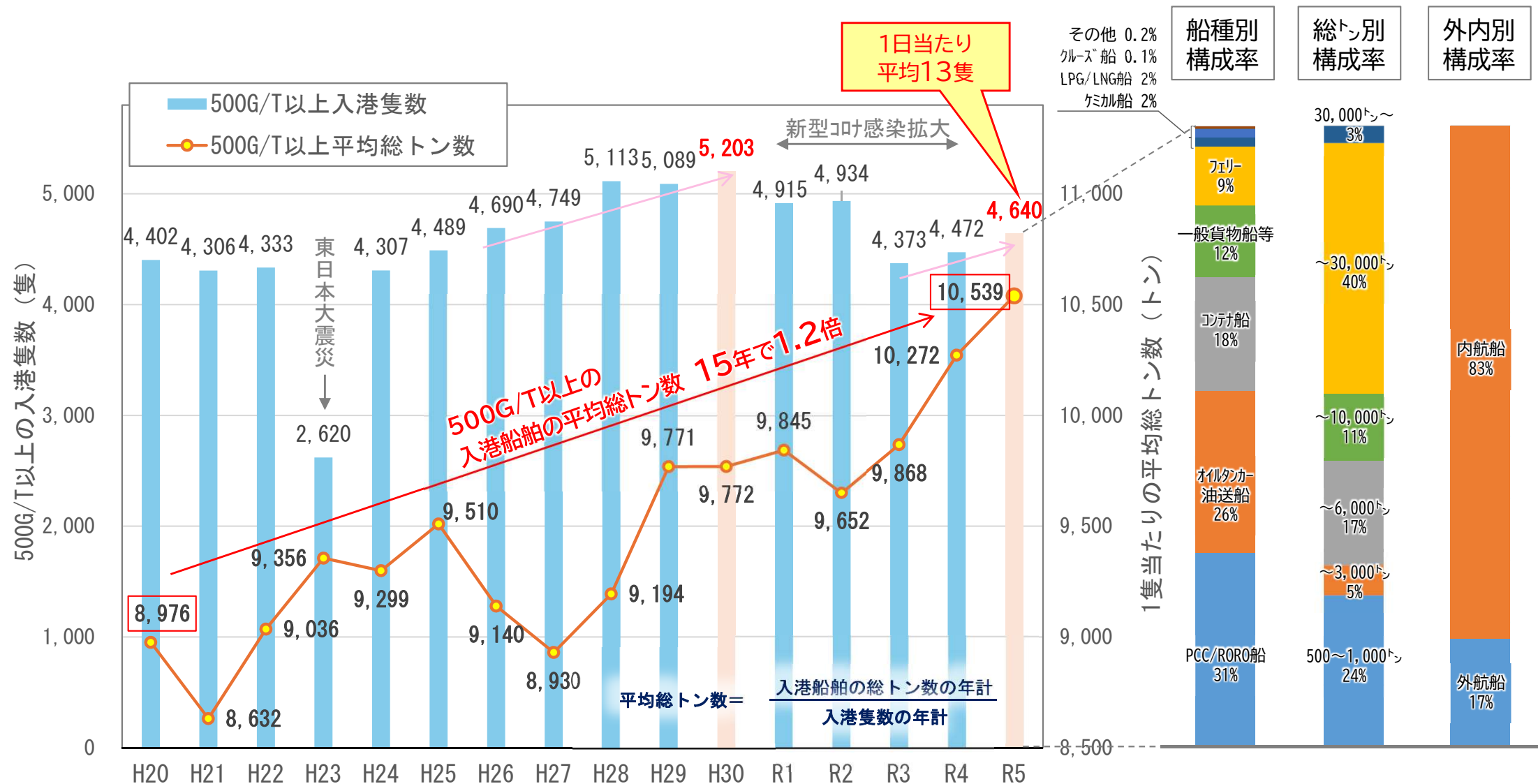




◆ 仙台港区では、入出港船舶の大型化に加え、外内航、大小含め、多種多様な船舶が往来



⇒ 今後の貨物量増大等も鑑み、船舶の輻輳、港内混雑解消が課題 = **ポータルラジオの導入**



国際VHF無線局「せんだいポータルラジオ」の概要

明日につなぐ × ミヤギの未来
宮城県土木部

▽ 令和7年4月1日から仙台港において、ポータルラジオの本格運用を開始

ポータルラジオの概要

(1) ポータルラジオの主な業務(24時間365日)

- ① 船舶の入出港に関する情報の収集・提供
- ② 無線通信等による船舶やタグボート等、関係者間の意思疎通
- ③ 水域を含めた港湾施設に関する利用調整(入出港順序等)

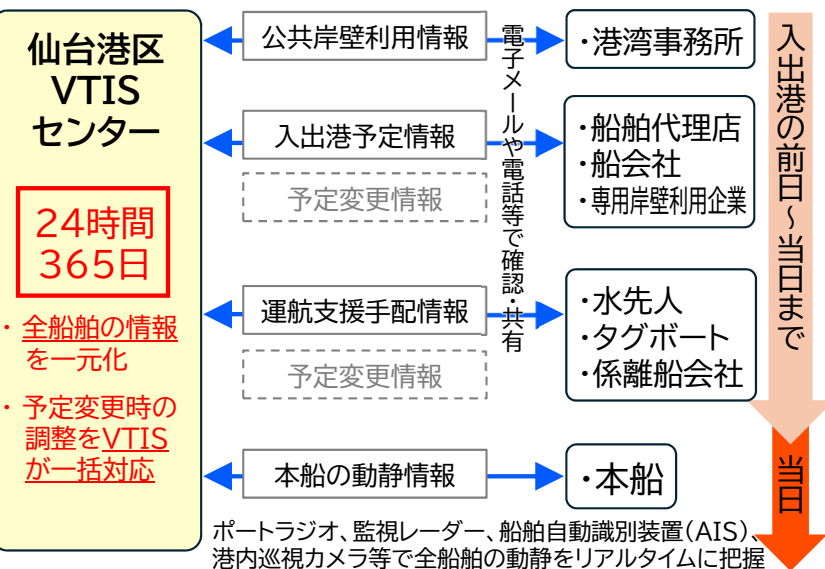
(2) 業務場所及び無線等設備

- ・業務場所: 高砂コンテナミル管理棟4階(名称: 仙台港区VTIS※センター)
- ・設備: 国際VHF無線局「せんだいポータルラジオ」(呼出し名称) 監視レーダー、港内巡視カメラ、風向風速計

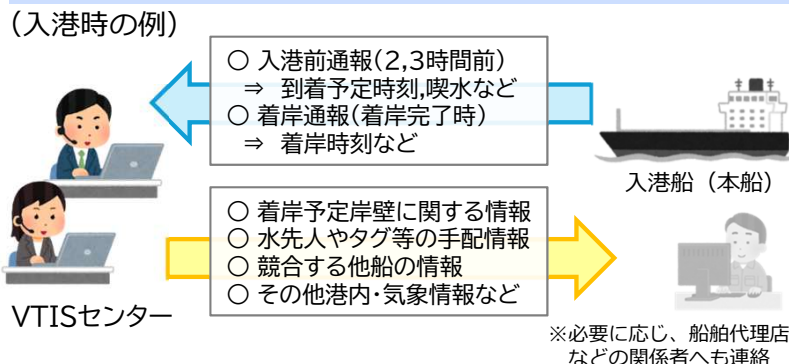
※ Vessel(船) Traffic(交通) Information(情報) Service(サービス)の略

具体的な業務内容

① 船舶の入出港に関する情報の収集・提供



② 無線通信等による船舶等関係者間の意思疎通



③ 水域を含めた港湾施設に関する利用調整

- 利用の競合
- ・回頭中の大型船舶の横を通過
 - ・中央航路内での大型船や油送船とのすれ違い
 - ・予定時間の変更による岸壁利用の競合 など

▼入港実績(500トンの以上の船舶)

年次	平成20年	令和5年
隻数	4,402 隻	4,640 隻
1隻当たり平均総トン数	8,976 トン	10,539 トン

15年で1.2倍



無線局の位置と通信可能範囲



▲ポータルラジオ業務の様子
(株式会社東洋信号通信社HPより)